

当院では、令和3年3月から64列マルチスライスCT装置を更新しました。

(被ばくを低減してよい画質が得られます)

このCT装置は、最新逐次近似再構成法により被ばく線量の低減やノイズを低減しコントラストは向上します。また、従来の検出器に比べ約2.5倍の情報密度から高画質が得られます。

(金属アーチファクトが低減されます)

金属アーチファクト低減アルゴリズムにより、検査の適用範囲も広がりました。頭部、肩、脊椎、股関節、四肢などの金属インプラントを原因とするアーチファクト低減を実現します。

(心臓CT検査が高心拍へ対応でき、画質もよくなりました)

心臓CT検査では、高心拍への対応と共に、冠動脈最適心位相検索に要する後処理時間の短縮を実現し、冠動脈狭窄の有無や心機能評価などがさらに精密に行えるようになりました。

(最新のデュアルエネルギー技術を搭載しています)

デュアルエネルギー技術(2つの異なるX線エネルギーで画像を作る)により、造影剤の使用量を低減し、高画質の3D画像の作成など、従来のCTでは困難だった物質の特性が見えるようになりました。

